

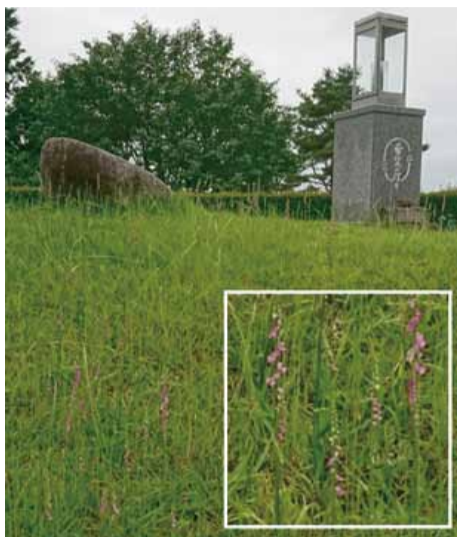


大船渡ベースの活動紹介

地域のイベントや活動紹介

気仙大工左官伝承館での草取り活動

今春から始めた気仙大工左官伝承館での草取り活動。今年はパラリンピックの聖火が『3.11希望の灯り』から採火されることになり、その周りの芝生部分に可愛らしいネジバナ(振花)が咲くため、キレイに保ちたいけれど手が回らず困っているとのことでしたので、そちらを重点的に作業しました。



ネジバナは低草地でよく見かけるラン科の多年草で、まっすぐに伸びた茎にピンク色の小さな花が螺旋状につきます。『ねじり草』や『ネジレバナ』などの呼び名が生まれたのも特徴的な姿ゆえです。

ネジバナを詠んだ和歌を見つけたのでご紹介しませう。

『陸奥(みちのく)のしのぶもぢずり誰ゆゑに乱れそめにし我ならなくに』

【現代語訳】陸奥の織物“しのぶもぢずり”の模様のように、私の心が乱れるのは誰のせいでしょうか？私のせいでは無く、あなたのせいですよ。可愛らしい見た目とは裏腹に、なかなか情熱的な和歌ですね。

花言葉は、『思慕』。恋人に限らず、コロナでなかなか会えない大切な方々のことを想いながら草を取る時間が、今の私たちにとって大切なものになっています。

被災地に咲く花④～キバナコスモス～

カリタス大船渡ベースの隣の空き地に、ヤマブキ色とレモン色の2色のキバナコスモスが咲き始めました。



花言葉は『野生的な美しさ』で、実際にコスモスよりも夏の暑さに強く、繁殖力が旺盛で、その野生的な雰囲気由来するといわれているそうです。コスモスの繊細な印象とは違い野生的な魅力があり、確かに夏の強い日差しにも負けず

に、雨や風さえも楽しんでるようです。砂利の中にしっかりと根を張って、ゆらゆら揺れている姿を見ていると、花の中に笑顔が見えるような気にもなります。幸せな気分させてくれる黄色の花が、しばらく楽しめそうです。

かつて訪問した際、黄色に染まった自宅の畑から、「増えすぎて困るから。」と、たくさんの苗を間引いてくださった方がいらっしゃいました。もう、「今年はベースでたくさん咲いたよお。」と写真を見せることも、報告することもできなくなってしまいました。遠い空から見えますか？今年はこんなにたくさん増えてきれいに咲いていますよ。



2年ぶりの『三陸・大船渡夏まつり』

大船渡市の夏の恒例イベント『三陸・大船渡夏まつり』が、8月6・7日の両日、開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大で昨年は中止となり、今年は感染症対策を図り、規模を縮小して、2年ぶりの開催となりました。



まつりの初日、海上七夕船『大船渡丸』に満艦の電飾が施され、一昨年までの市民道中踊りなどでお馴染みの『大船渡音頭』などを響かせながら

、竿灯を取り付けた漁船など17隻とともに湾内を巡航して、夜の船渡湾を美しく彩りました。

そして2日目には、海上七夕船に加えて、約8,000発の花火が次々と打ち上げられ、大輪が夜空を焦がし、光の競演となりました。市民や県内からの観光客たちは、その美しさに魅了されながら、東北の短い夏を堪能している様子でした。来年こそは市民道中踊りも加わって、海の街大船渡の夏の一大イベントとして、盛り上がりたてたいと思います。



気仙からの聖火

東京オリンピックの興奮冷めやらぬ8月12日から、東京パラリンピックの聖火の採火式が岩手県内でも行なわれました。



大船渡市は、キャッセン大船渡千年広場で地元住民が手作りした竹灯籠から『おおふなとの火』を、陸前高田市は気仙大工左官伝承館の阪神・淡路大震災のガス灯モニュメントから分灯された『3.11希望の灯り』を、住田町では、五葉山火縄銃鉄砲隊が鉄砲を打つ際に使う種火から『すみだの火』をそれぞれ採火しました。パラリンピックの成功や、東日本大震災支援への感謝などの思いを込めて県内33市町村から採火された火が、16日に盛岡市で行なわれた『集火・出立式』で『岩手県の火』となり東京へ送り出されました。

そして、8月20日には全国の火がひとつになり、24日からのパラリンピックを見守る聖火となったのです。

ベースからのお知らせ

- 『カリタス大船渡ベース オンライン交流会』を準備中です。
現在の大船渡ベースの活動や、大船渡市、陸前高田市の街の変化を写真で紹介予定。準備が出来次第、改めてフェイスブックとブログ上でご案内致します。
- カリタスみちのく～つないだ10年、つながるこれから～
インターネットで『カリタスみちのく』を検索していただくと、カリタスベースや小教区の有志グループ同士の情報共有、情報発信を行なっているページをご覧いただけます。

- カリタス絵手紙の輪 … 随時参加者を募集しています。
- 被災地見学のご案内 … 県内にお住まいの方へ被災地見学のご案内をいたします。

詳しくはお問い合わせ下さい

2015年5月からスタッフとして働いてくださった大河内愛さんが、8月いっぱい退職をいたしました。今まで本当にありがとうございました。

大船渡市の中心地の様子 (2021/9/11 撮影)



震災から
10年6ヶ月…

ボランティア登録者数

男性678人
女性1391人
⇒合計2069人

◆8月1日～8月31日
ボランティア数
男性：0名
女性：0名

新型コロナウイルス感染予防のため、当分の間、**ボランティアさんの受け入れを中止**とさせていただきます。

2021年8月1日～31日の活動紹介

8月12日に岩手県独自の緊急事態宣言が発令されたことを受け、活動内容を見直し感染拡大に留意しながら活動しています。

- 3日(火) ファミリーサポート・子ども預かり
- 12日(木) 上山東アパートサロン
- 在宅訪問
宣言後は、玄関先で短時間の訪問にするよう努め、また、訪問が迷惑でないかも確認をしました。
- 教会支援
大船渡教会の広報『海の星』を仕上げました。

- <定期活動>
- ・水/土曜日 買物送迎
 - ・水曜日 手芸サロン
 - ・木曜日 パステル絵手紙
 - ・土曜日 小・中学生のための英語学習会

- <中止した活動>
- 20日(金) 元気度アップ教室
 - 23日(月) カリタス釜石 パステル絵手紙サロン
 - 24日(火) ほしっこクラブ手伝い
 - 26日(木) スマホ教室

<その他>
個人依頼・地域支援・カリタス工房
カリタス絵手紙の輪

